



動物が地震を予知するのは本当なの

ふだんとちがう行動をとる

地震が起こる前に、動物が、ふだんとちがう行動をとることは、世界中で知られています。このような行動を「異常行動」、とっていますが、動物にとっては、異常な行動ではなく、身にせまる危険を感じとって、自然にふるまっている姿なのです。

中国では、地震の予知に力を入れはじめた、1966年ごろから、動物の地震に対する行動を研究しています。それによると、ヘビなどの地中にいる動物は、最も早い時期に地震を察知し、ウシやブタなども地震の前日が当日に、ふだんとちがった行動をすることがわかりました。

地震の予知に結びついているか、正確にはわからない

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)の直前に、イヌがいっせいにほえた、ネコがはね回って家を飛び出した、カラスが大さわぎをした、ネズミが天井裏をかけ回った、冬眠中のカメが起き出した、というような報告が、たくさんありました。

世界の国々で地震の前に、ふだんとちがう、行動をとった動物には、いろいろな種類があります。イヌ、ネコ、ネズミ、カラス、ワニ、ヘビ、魚、昆虫、ミミズなどです。

しかし、動物は、地震以外のことが原因でも、ふだんとちがう行動を、とることがあります。いろいろな行動の中から、地震の前ぶれに結びつく行動を、見つけ出すことはむずかしいのです。(監修・国司 真)

